2021.5.17

ノートンサイバー犯罪調査レポート

ノートンライフロック サイバーセーフティ インサイトレポート 2021

株式会社ノートンライフロック

Copyright © 2020 NortonLifeLock Inc. All rights reserved.

目次

ノートンサイバー犯罪調査レポート
ノートンライフロック サイバーセーフティ インサイトレポート 2021

ノートンラボの研究データ
直近のサイバー犯罪について

まとめ・対策のご提案
ノートンが提案するセキュリティ対策

ノートンサイバー犯罪調査レポート

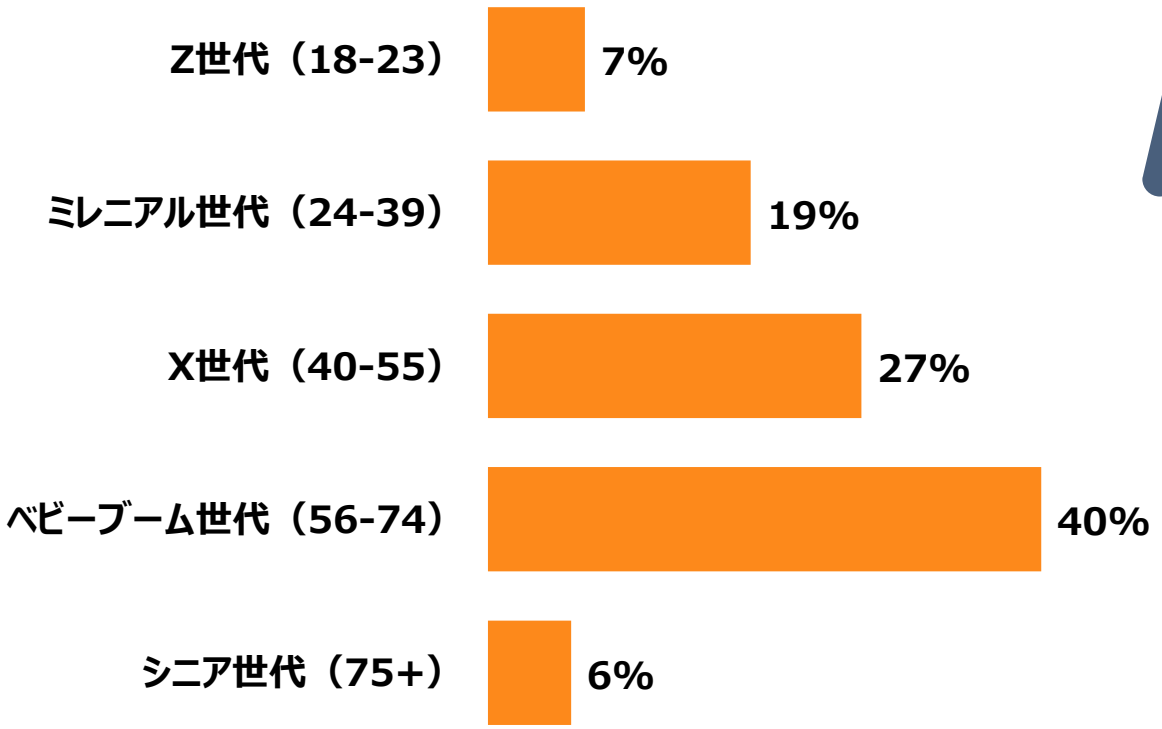
ノートンライフロック サイバーセーフティ インサイトレポート 2021

Copyright © 2020 NortonLifeLock Inc. All rights reserved.

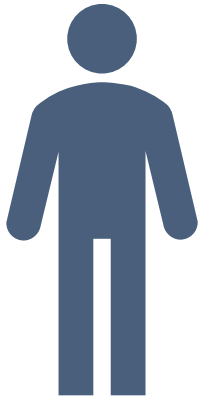
ノートンライフロック サイバーセーフティ インサイトレポート調査方法

手法	オンライン調査
実施期間	2021年2月15日～2月28日
調査対象国	全10か国 （オーストラリア、フランス、ドイツ、インド、イタリア、日本、オランダ、ニュージーランド、イギリス、アメリカ）
回答者	18歳以上の男女
回答者数	約10,030名 （各国1000名以上） （日本 1,020名）
調査機関	The Harris Poll （ノートンライフロックの委託による）

年齢層内訳



性別



男性
48%

女性
52%

*データは人口の実際の割合に沿うよう、必要に応じて年齢、性別、人種／民族、地域、教育、雇用、収入、婚姻区分、インターネットの利用状況、言語能力、世帯規模、世帯収入、社会経済的状況、地域、オンラインになる傾向によって加重しています（インドはオンライン上の人口に加重しています）。また、各国の調査結果が均等に反映されるよう加重しています。理論的サンプリング誤差は考慮されていません。

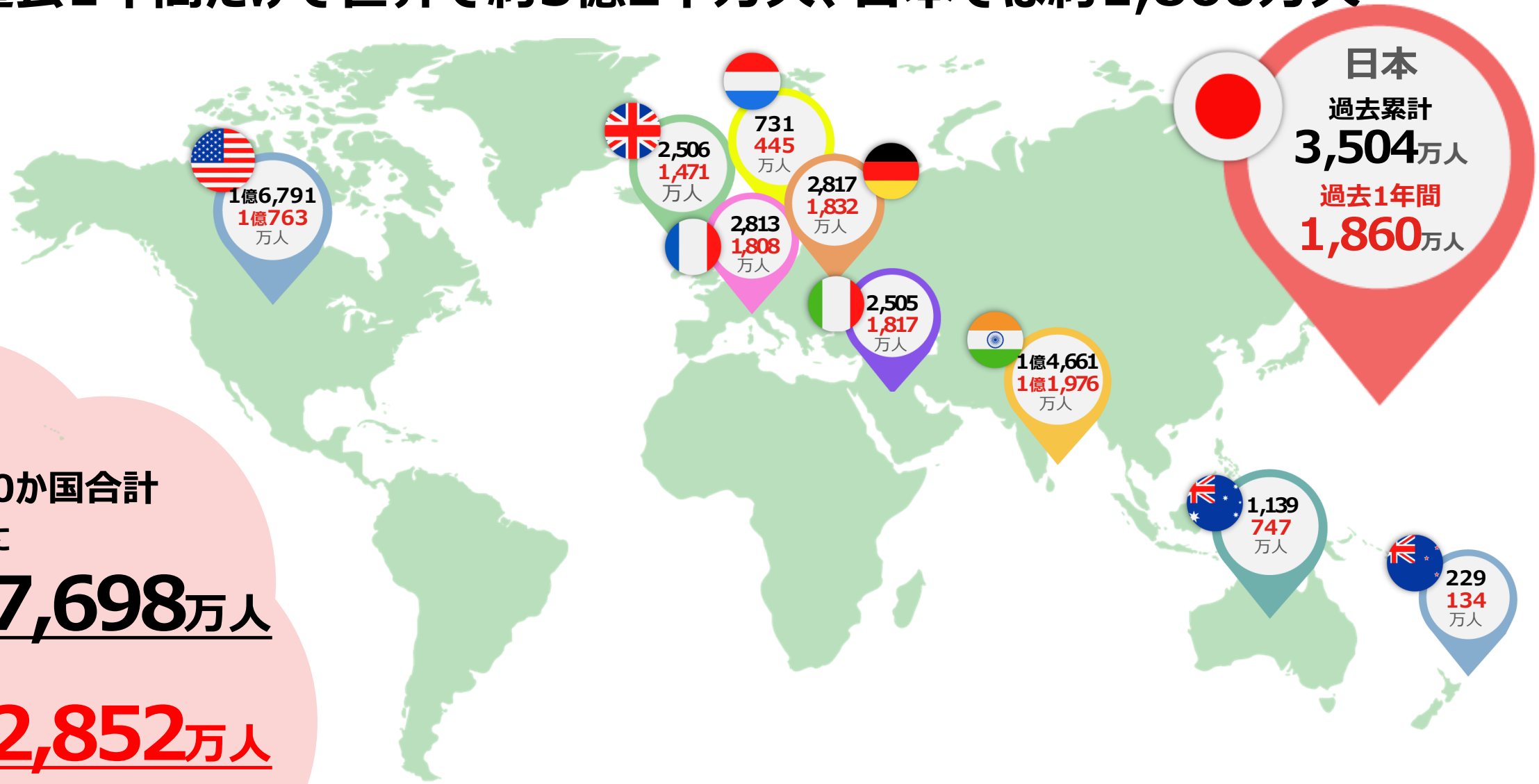
Copyright © 2020 NortonLifeLock Inc. All rights reserved.

全10か国におけるサイバー犯罪状況：発生とその影響

Copyright © 2020 NortonLifeLock Inc. All rights reserved.

サイバー犯罪を経験したことがある消費者は世界で約4.7億人
過去1年間だけで世界で約3億2千万人、日本では約1,860万人

累計被害者数
過去一年の被害者数
*1万以下は四捨五入



世界10か国合計

これまでに

4億7,698万人

昨年は

3億2,852万人

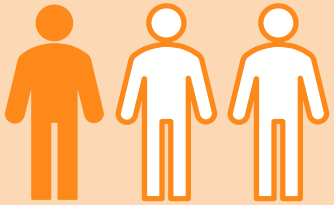
Copyright © 2020 NortonLifeLock Inc. All rights reserved.

日本人の約3人に1人がサイバー犯罪を経験。

これまでにサイバー犯罪を
経験したことがある日本人

約3人に1人

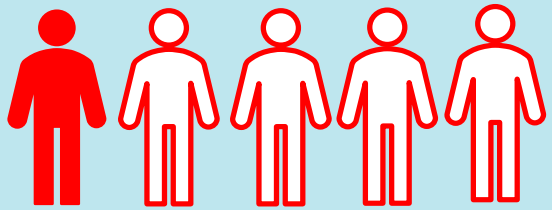
33%



過去1年の間に
サイバー犯罪を経験した日本人

約5人に1人

18%



「サイバー犯罪経験者」国別割合

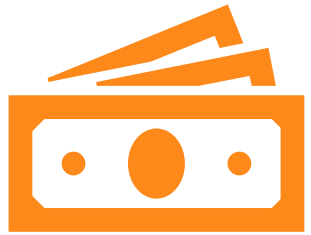
	累積	過去1年間
オーストラリア	57%	37%
フランス	53%	34%
ドイツ	42%	27%
インド	72%	59%
イタリア	48%	35%
日本	**33%**	**18%**
オランダ	52%	32%
ニュージーランド	60%	35%
イギリス	48%	28%
アメリカ	64%	41%

Copyright © 2020 NortonLifeLock Inc. All rights reserved.

過去1年間にサイバー犯罪を経験した日本人における、被害額は推定220億円、問題解決に費やされた時間約1.1億時間。

過去1年の間に
サイバー犯罪の問題解決に
費やした時間は

約1.1億時間



過去1年の間に
サイバー犯罪によって受けた
日本人の総被害額は

推定220億円

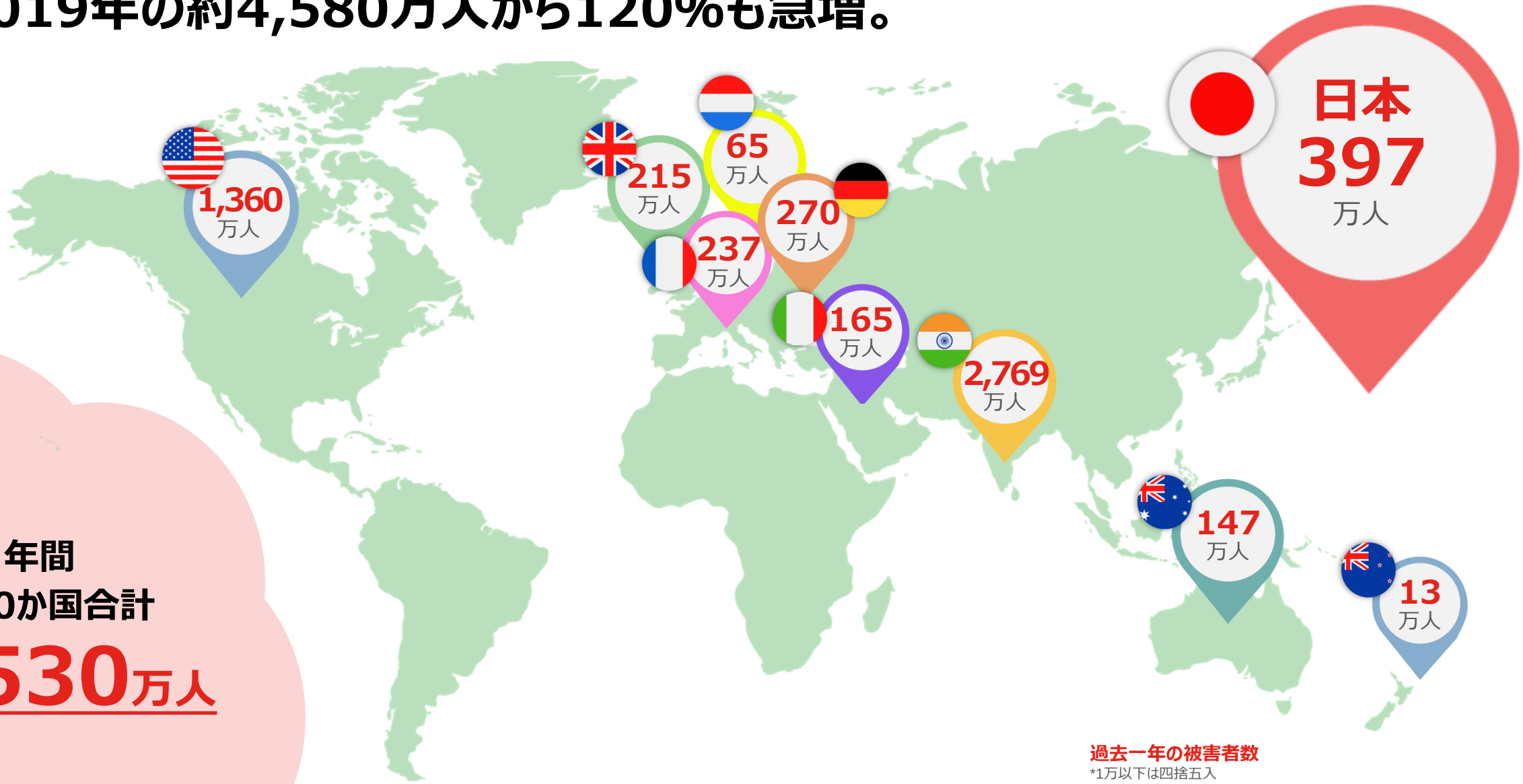
Designed by Freepik

Copyright © 2020 NortonLifeLock Inc. All rights reserved.

個人情報の盗難：
発生件数と盗難に対する考え方

Copyright © 2020 NortonLifeLock Inc. All rights reserved.

過去１年間、個人情報の盗難被害に遭った消費者は世界で約5,530万人＊
2019年の約4,580万人から120%も急増。



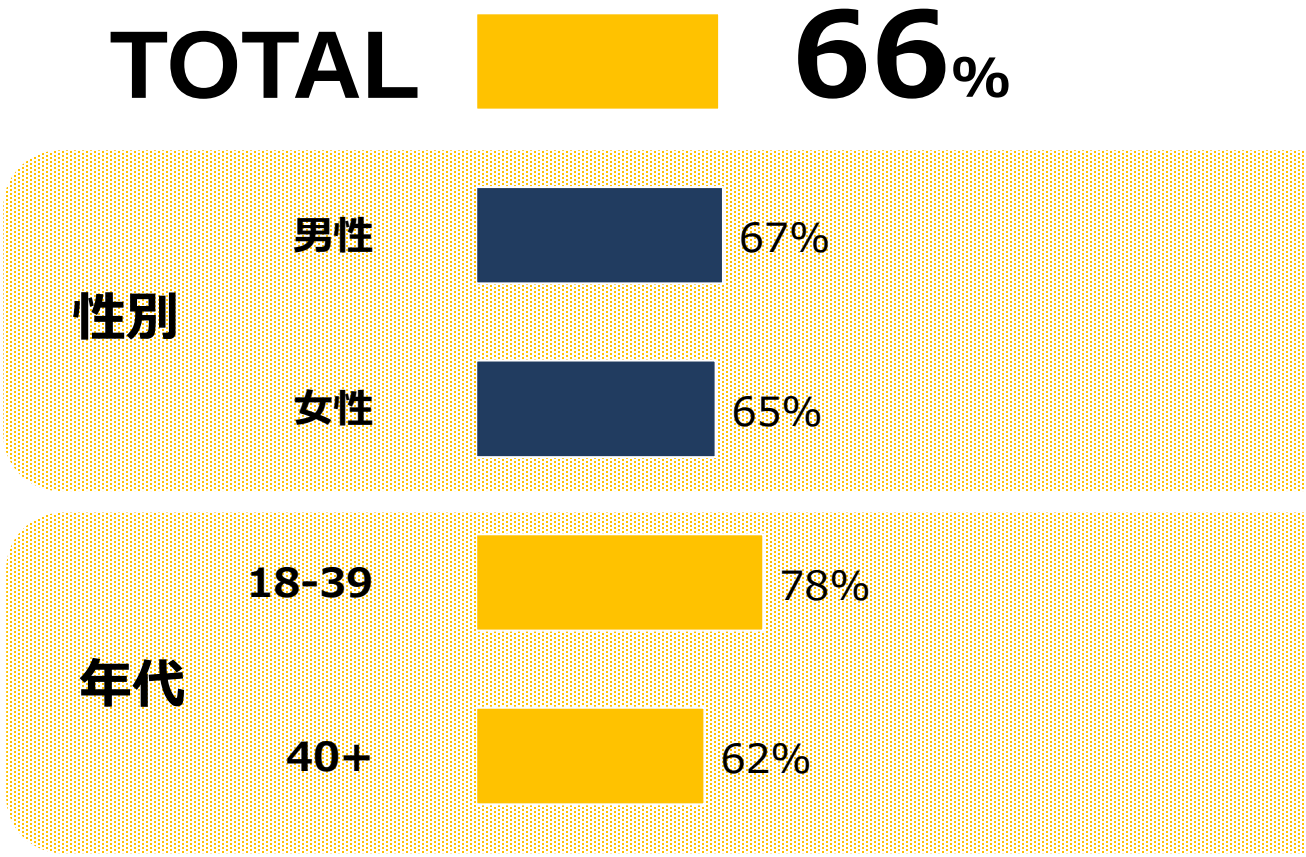
過去１年間
世界10か国合計
5,530万人

過去一年の被害者数
*1万以下は四捨五入

Copyright © 2020 NortonLifeLock Inc. All rights reserved.

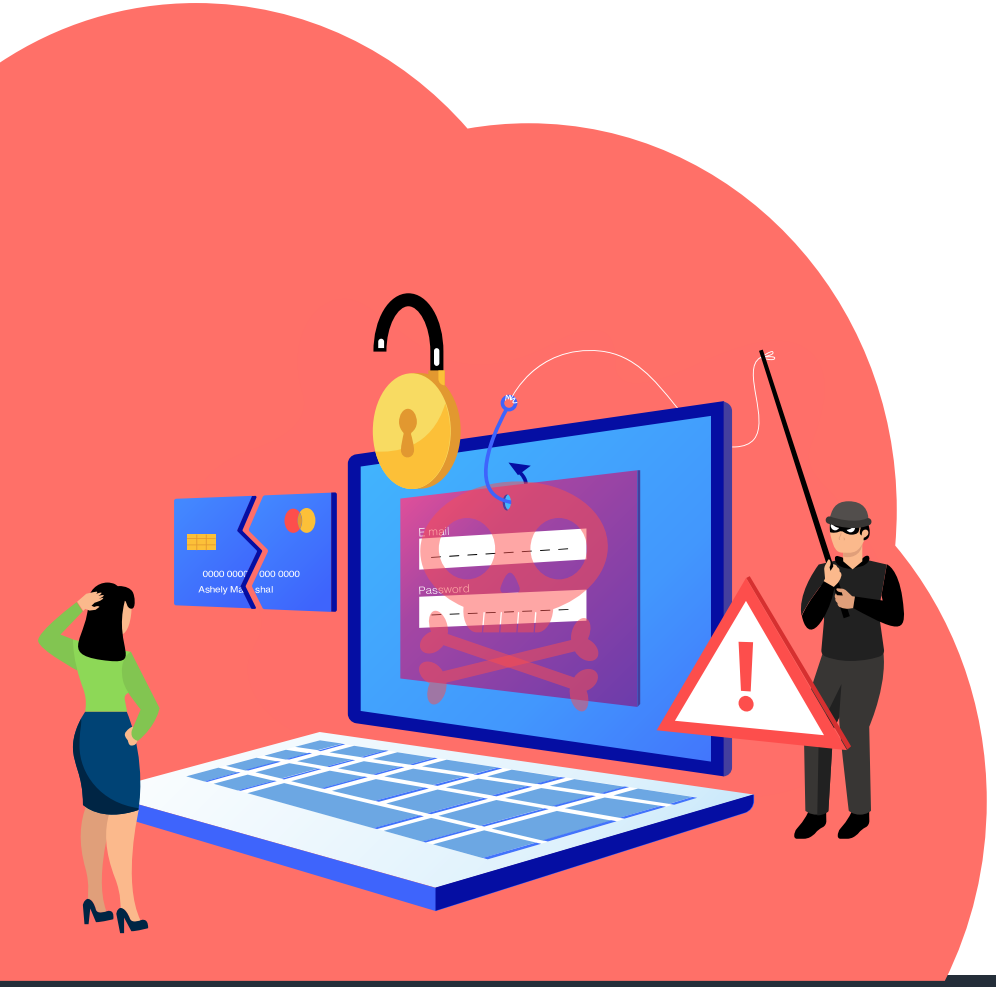
コロナ禍、多くの日本人はインターネットを利用する時間が増えた。

これまで以上に
オンラインで過ごしている



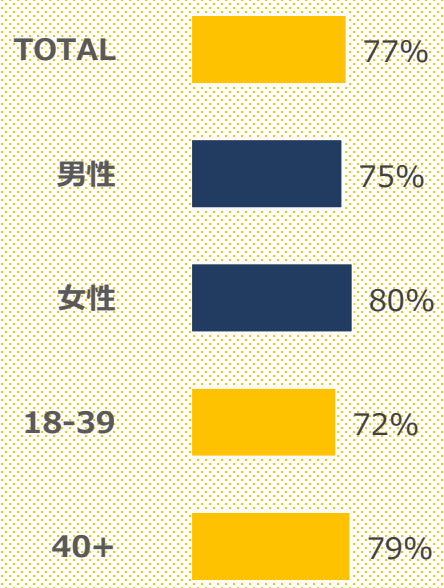
*データプライバシーに関する性別・年代分析

インターネットを利用する時間が増え、サイバー犯罪の不安が増す一方、情報を守る対策や、個人情報が漏洩した際の対処法が「わからない」と回答。



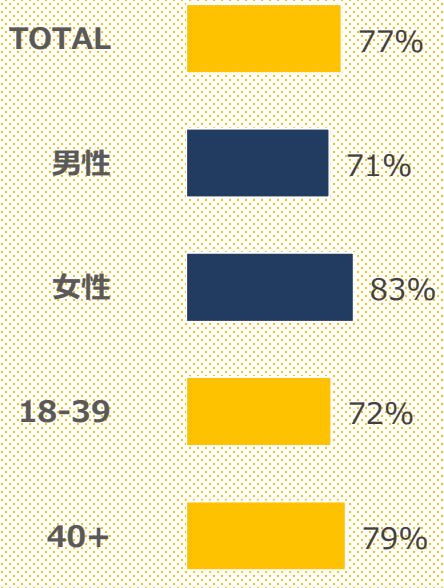
サイバー犯罪の被害に遭うことを、
これまで以上に心配している

77%



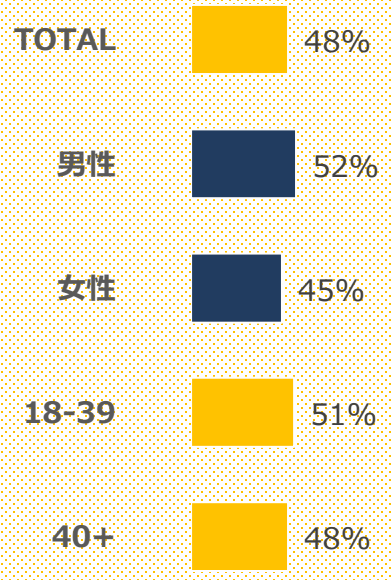
サイバー犯罪から
身を守る方法がわからない

77%



サイバー犯罪の心配から
より多くの予防措置を取った

48%



*データプライバシーに関する性別・年代分析

ノートンラボの研究データ：
直近のサイバー犯罪について

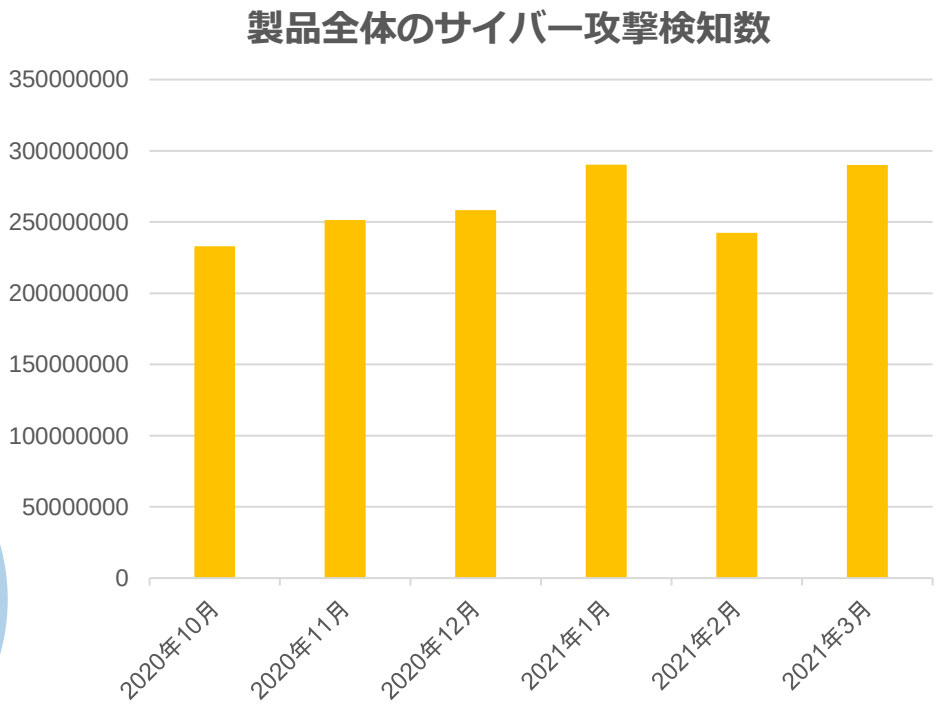
Copyright © 2020 NortonLifeLock Inc. All rights reserved.

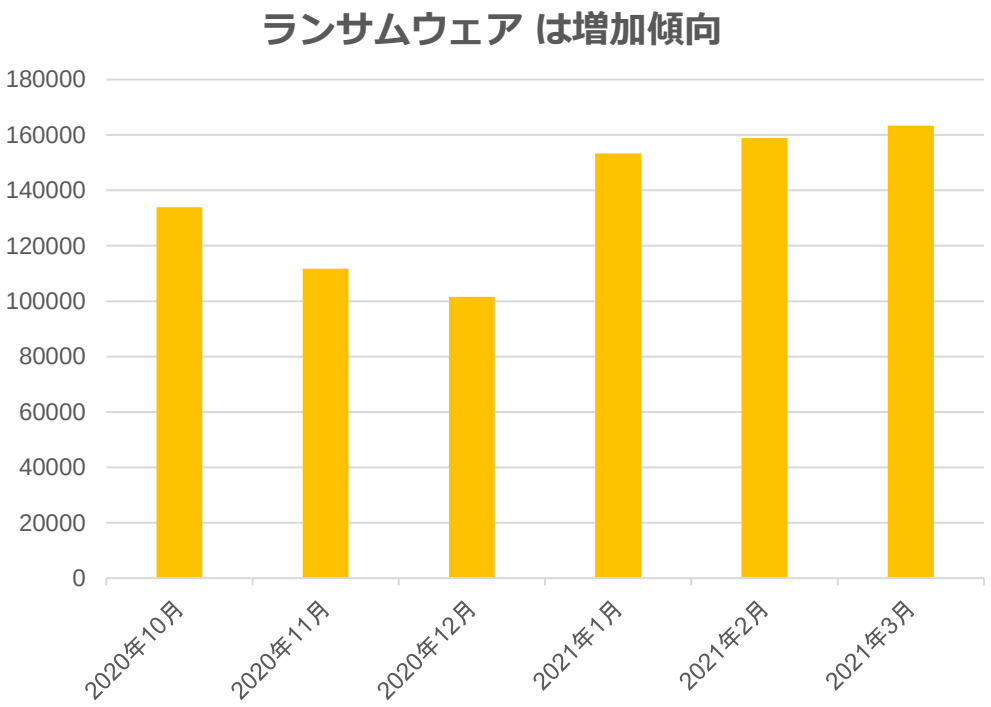
ノートンラボの2021年1~3月の研究サマリーおよび今後の考察

1. 2020年１～３月の検知データでは、コロナに便乗したサイバー犯罪が確認されています。 現在、世界はワクチン接種段階に入っており、社会背景に乗じた、ワクチンに関するフィッシング詐欺のキャンペーンも確認されています。コロナ禍で失業した人への税金の還付/救済詐欺も蔓延しています。
2. 同時に、テレワークの人々もターゲットにされています。 「テクニカルサポート詐欺」は、ITのトラブルに関する支援が必要な可能性がある人々をターゲットにした詐欺です。ノートンのサポートを装った詐欺は、昨年の同時期から1800%増加しています。
3. 今後は、ワクチンの接種が進み、リモートではなく現場での作業、旅行、社交が増える可能性があります。 ワクチン証明書に関連する詐欺のように、コロナに便乗したサイバー犯罪が今後も続く可能性があります。
4. フィッシング詐欺、ランサムウェア、サプライチェーン攻撃等は依然として蔓延しています。

ラボの検知データ

ノートン製品によるサイバー攻撃検知数は引き続き増加傾向に。
特にランサムウェアは昨年10-12月の3ヶ月間と比べ、
今年1-3月は35%（平均）増加。

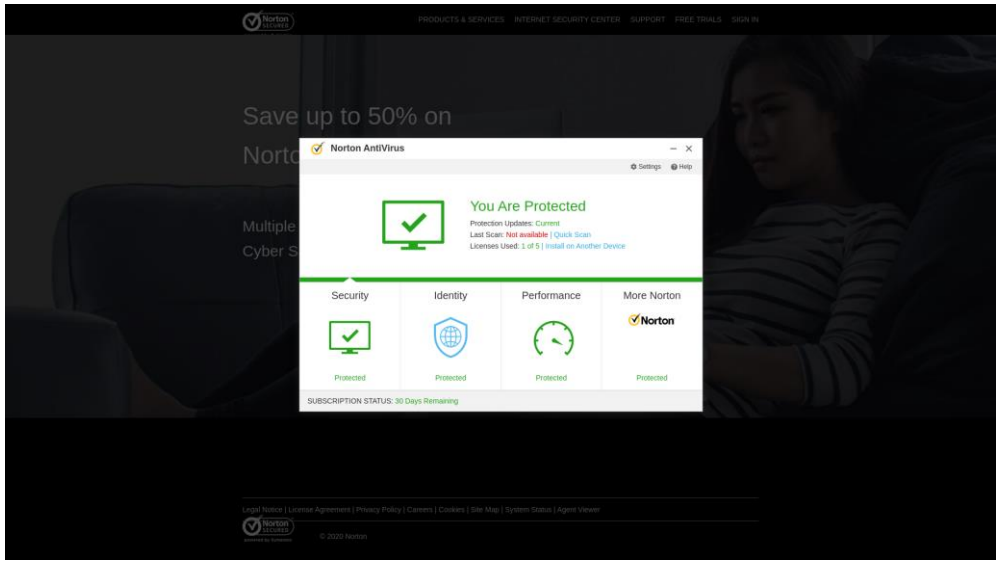




Copyright © 2021 NortonLifeLock Inc. All rights reserved.

直近の特徴的な事例

テレワークを狙うテクニカルサポート詐欺が多発
2020年3月から2021年3月の1年間で問い合わせ約1800%増加。

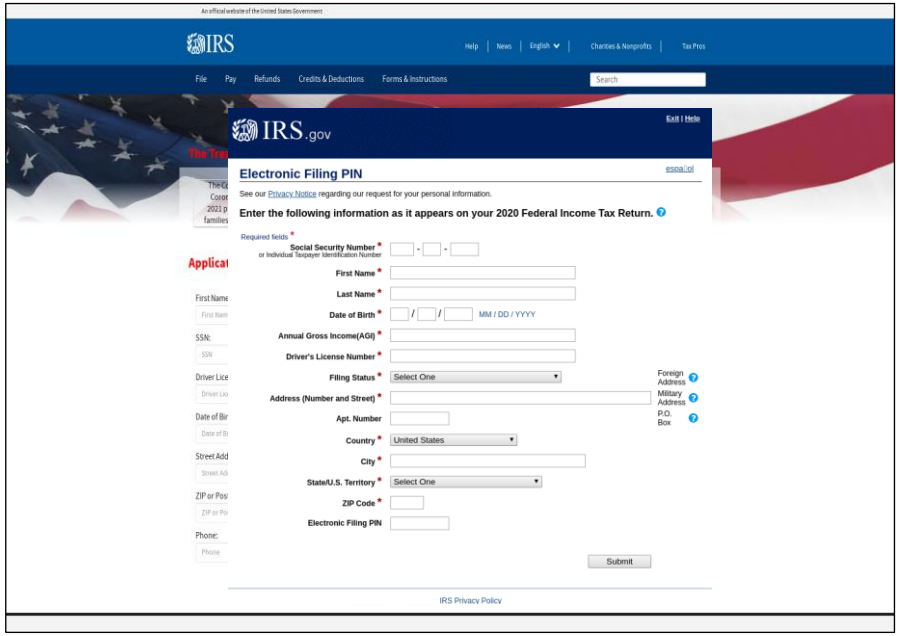


Copyright © 2021 NortonLifeLock Inc. All rights reserved.

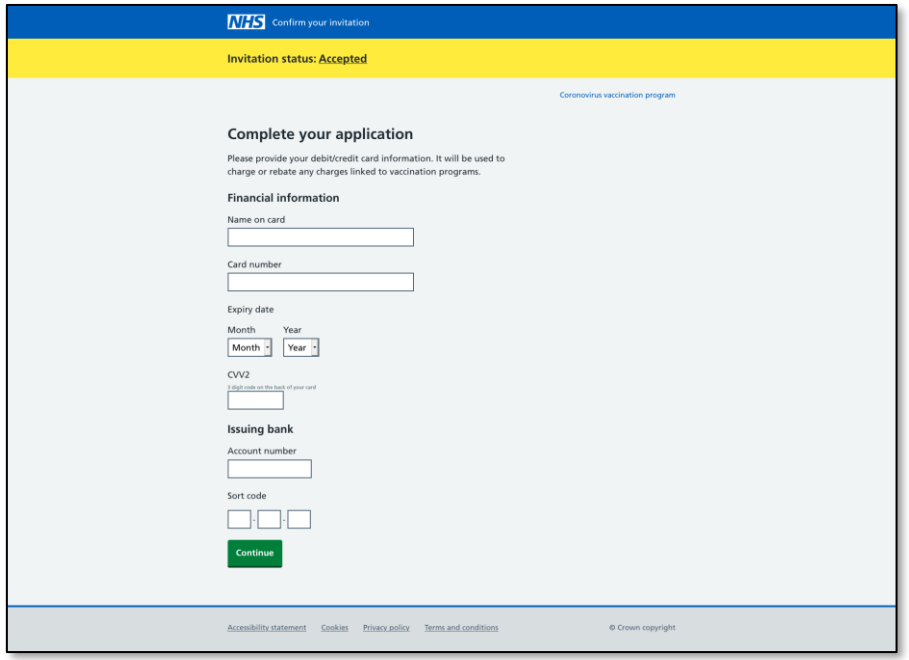
直近の特徴的な事例

コロナ禍に乗じたワクチンや税金の還付・救済に関する
フィッシング詐欺が増加。新たな事例を知っておくことでも対策に。

IRSフィッシングページ

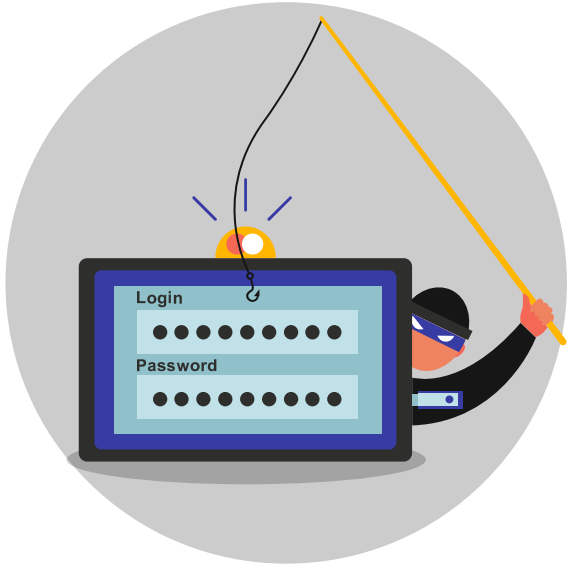


ワクチン詐欺（フィッシング）



Copyright © 2021 NortonLifeLock Inc. All rights reserved.

ノートン製品によって検知したフィッシング等の詐欺サイトに悪用されたブランドの１ヶ月のランキング。日本企業が多数ランクイン。



フィッシング等の詐欺サイトに悪用されたブランド・コンテンツ(世界TOP 20 ）

3月23日 – ４月23日(１ヶ月間）

Rank	Target
1	調査アンケート詐欺
2	サポート詐欺
3	ドコモ
4	サプリメント詐欺
5	マイクロソフト
6	フェイスブック
7	Square （米国ソフトウエア事業)
8	Royal Mail (英国 郵便事業)
9	USPS (米国 郵便事業)
10	JCB
11	三菱UFJフィナンシャル・グループ
12	Chase(米国 銀行持株会社)
13	HSBC (英国銀行・金融サービス)
14	Adobe Document
15	WhatsApp
16	ペイパル
17	三井住友銀行
18	マカフィー サポート詐欺
19	アマゾン
20	エポス カード

*ノートンラボの検知したデータに基づき作成されたランキング。

Copyright © 2020 NortonLifeLock Inc. All rights reserved.

まとめとアドバイス

Copyright © 2020 NortonLifeLock Inc. All rights reserved.

調査結果のまとめ

- 2020年、調査対象国では1秒に10人がサイバー犯罪を経験。日本では約1,800万人が被害に。
- 1年間で、約400万人の日本人が個人情報の盗難被害を経験。
- 日本だけで、被害額は推定220億円、問題解決に費やされた時間約1.1億時間。
- コロナ禍でインターネットを利用する時間が増え、サイバー犯罪に対する不安が増す一方、情報を守る対策や、個人情報が漏洩した際の対処法が「わからない」と回答。

Copyright © 2020 NortonLifeLock Inc. All rights reserved.

サイバー犯罪から身を守るためのポイント

- 不信なメール・添付ファイル・リンクは絶対に開けない
- パスワードは長く複雑なものにし、使い回しは避け、定期的に変更する
- サイトの日本語・URL・会社情報等が怪しくないか確認する
- フリーWi-Fiを利用するときはVPN(通信内容を暗号化する技術)を使用する
- アプリ等のプライバシーポリシーを確認する
- 二段階認証などセキュリティ設定を強化する
- アプリ・ソフト等は公式なサイトからダウンロードする
- OSやアプリは常に最新版にアップデートする
- ウェブ会議は、アクセスできる人を指定し、毎回新規URLを発行する
- セキュリティソフトに加え、個人情報が漏洩した際に通知し、対応処置をサポートしてくれるサービス

（ダークウェブ モニタリング機能と復旧支援サービス）を利用し、被害拡大を防ぐ。

データを守るセキュリティ対策だけでなく、
個人情報が流出した後の対策が必要です。

Copyright © 2020 NortonLifeLock Inc. All rights reserved.

参考資料：
ノートンのソリューション

Copyright © 2020 NortonLifeLock Inc. All rights reserved.

ノートンが提供するセキュリティ対策

パソコン、スマホ、Wi-Fiや詐欺など個人からの流出はノートンのセキュリティソフトで対策。
どこから流出するかわからない個人情報は、ノートン ID アドバイザーで対策して、被害拡大を防ぐ。

＋

デバイスだけでなくフィッシング詐欺などを
含めたセキュリティ対策

➡ セキュリティソフト
https://japan.norton.com/mikata/

流出してしまった
個人情報への対策

➡ ダークウェブモニタリング機能
＆その後の迅速な対応支援
https://japan.norton.com/dwm/

Copyright © 2019 Symantec Corporation. All rights reserved.

無料でメールアドレスがダークマーケットに流出しているかチェックできます。
https://japan.norton.com/dwm/c/

Copyright © 2019 NortonLifeLock Inc. All rights reserved.